

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4190100216		
法人名	社会福祉法人 敬愛会		
事業所名	グループホーム三瀬		
所在地	佐賀市三瀬村三瀬38番地1		
自己評価作成日	令和4年4月18日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp">www.kaigokensaku.mhlw.go.jp</a>
-------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和4年6月24日	外部評価確定日	令和4年8月2日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>リビングからの眺望がずばらしく、居ながらにして緑豊かな三瀬村の景色を優雅に満喫できます。全室個室で各部屋にトイレも完備しており、プライバシーの確保ができています。(トイレに行くまでの距離と時間を短縮でき、自立に向けてのメリットがあります)ご自分の個室で自由に過ごして頂きながらも、ご自身の意思でリビングでも過ごして頂けるよう声掛け等の配慮をしています。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>福岡との県境に位置し山や田園が広がり、広い敷地内に母体は法人で特別養護老人ホーム、小規模多機能等多くの介護施設の一画に「グループホーム三瀬」がある。自然豊かで、近くに有名な道の駅や温泉施設もある。玄関から真っ直ぐで長い廊下が印象的である。事業者内は広く、理事長のこだわりで木製の落ち着いた造りである。利用者には自分の家と併用した生活をしてもらう為に職員は「優しく思いやりを持って、住み慣れた地域の中で支え合いながら楽しく過ごしてもらいたい」との思いである。開設4年目で管理者と職員は特別養護老人ホームで培った技術を事業所に活かしている。リビングの窓から自然を眺めたり、備え付けの雑誌を見たりのんびり過ごされている。現在コロナ禍の為に多くの制限があるが早く終息され計画や活動を取り戻したいと思われている。</p>
--

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念として、 ・私らしく生きるために、人と触れ合い、優しさと思いやりを持って、心と体の健康をサポートします。 ・住み慣れた地域の中で、共に支え合い、自らの能力を活かし、穏やかに暮らすことができるように努めます。 理念の共有方法として、オリエンテーション時の説明、事業所やリビング内に掲示し、理念にある接し方を日々努めております。	理念は事務所、リビング、洗面所等人の目に付く場所に掲示されている。常に理念を意識しながらケアに努めている。戸惑った時には理念に戻り、職員同士支え合っている様子は理念が活かされていると思われる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	現在、コロナウイルス感染予防に伴い、面会や訪問の対応をお断りさせていただいております。以前は、地域の方々との定期的なボランティア訪問(生け花交流など)を行い、地域とのふれ合いに努め、近隣へ外出などを行い、法人主催の敬老秋祭りや婦人会による慰問などへ、参加(見物)し交流に努めておりました。 今後、コロナウイルス感染が終息すれば徐々に参加(見物)等の交流へ努めてまいります。	現在コロナ禍で思うような交流は制限されているが、地域との付き合いは常に意識されている。敷地内を散歩中、地域の方と会って挨拶や言葉掛け等ささやかではあるが交流はある。同法人内の特別養護老人ホームで太鼓の演技があり、片隅から窓越しに見学され楽しめることもある。ショートステイの方が面会に来られる事もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現事業所状況においては、力不足で実施までつなげる事は出来ていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催しております。しかし、コロナ禍において、会議を中止せざるを得ない状況が多々生じております。佐賀県内の感染比率状況を見ながら、開催や書面で各委員へ利用状況、サービス状況等を報告、ご意見を頂いている状況です。 今後、コロナウイルス感染が終息すれば、徐々に行事や地域活動など、情報を頂きサービス提供へ活かしてまいります。評価等への取り組みや改善案などについても、必要に応じて随時報告に努めております。	2ヶ月に1回利用状況、活動報告の議事録を作成し、メンバーに配布し、職員には回覧している。民生委員から利用料金等の質問があり回答した例もある。問題点については話し合いで出来る事から改善されている。これまでは会議後面会や、現場を視察されるなどで利用者と触れ合いがあったが、今は出来ていない。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	保険者である佐賀中部広域連合や地域包括支援センター、行政等と連携に努めております。 必要に応じ空き状況や利用に関する相談、料金などの情報交換を行っております。	生活保護の方の利用者があり、手続きを家族が出来ない時は職員が出向いている。その際に現状確認の対応や空き情報の相談も行われている。管理者は特別養護老人ホーム勤務の経験があり、問題点は法人に相談、解決出来る体制であるが行政の関わりも大事にされている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	建物の構造上、玄関以外の出入口は段差もあり、危険防止の為昼夜施錠しているが、散歩や建物周りの草むしりや掃除などの活動を行う事で、閉塞感を感じさせないよう努めております。 身体拘束に関するマニュアルを作成、職員へ周知徹底に努めております。 運営推進会議で、入居者に対する身体拘束状況を報告しております。 ケア提供状況に応じて、身体拘束にあたるか否かなど検討確認を行い、身体拘束がないよう取り組んでおります。	マニュアルに沿って研修されている。職員は「拘束しない」について工夫し、弊害についても理解し周知されている。利用者がやりたいことは認めたいが安全が第一とし、また家族からの希望の際は状況を把握し、話し合いで対応している。外出願望の利用者もあり近所の方の見守り、声掛け等地域の協力は続いている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止のための指針、マニュアルを作成し、職員へ周知徹底に努めております。 また、入浴時に全身観察にも留意しております。 年1回法人施設内において、高齢者虐待についての職員研修会に参加。研修会で学んだ事を職員同士情報を共有しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者は安心サポート、成年後見制度について学び、必要に応じ該当者があれば、関係機関へ相談できるよう努めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約手続きの場合、書面にて説明し同意を得ている。気になる点については、理解が得られるよう分かり易い言葉で説明を心掛けております。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事務室玄関側に、意見箱を設置。契約説明の際に、第三者苦情、相談窓口の説明を行っております。ご家族等の意見や要望については、運営推進会議や面会来所時に、意見や要望等があれば、必要に応じて、速やかに改善・対応を行うよう努めております。	ホーム便りを作成し、行事毎の写真と請求書を配布している。対象者にはラインで電話や写真の対応をしている。コロナの状況を見て面会も受付10～15分程度玄関で窓越し対応としている。床マットには消毒液を浸して感染対策をし、窓は声が聞こえる位に開けての面会である。その際に意見や要望を聞きケアプラン計画に活かされている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回スタッフ会議を開催。会議以外にも常日頃より、職員から意見が上がった際、速やかに小ディスカッションを行い、試し期間を設け新たに取り組む業務改善や効率度を図り、処遇改善に努めております。	法人内での異動がある。職員からは業務や介護支援について等多くの意見が出される。月1回のスタッフ会議で問題点の改善等は環境や変化に合わせて試し期間をつくり決定される。管理者は多くない職員の中で常に働き易さを意識し支え合い、利用者や家族、職員とのコミュニケーションも良く働き易くなっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	日々職員の努力や目標に対する姿勢を把握し、職員の悩みや意見を聞く場を設け処遇改善、環境整備改善など努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内施設内研修会や施設外研修会へ参加できる機会を設けております。事業所内においては、スタッフ会議を通して、研修報告の伝達を行っております。また、介護業務に役に立つ情報があれば、資料を配布し、職員間での情報共有に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在、コロナ禍により研修への参加は減少しておりますが、ウェブ研修を活用し外部の研修会への参加を取り入れ、法人内研修会や勉強会などで意見交換を図り、サービス向上に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用前に、ご本人並びにご家族と話し合いを設け、現在困っている事や不安な事、意向など、ゆっくり傾聴できるように努めております。 入居初日は、不安なく過ごせるよう、職員は声掛けや促しを意識し、ご本人の好まれる居心地のよい環境作りの配慮に努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の不安や要望、サービス利用についての意向や想いなど、傾聴に努め可能な限り意向を尊重し対応に努めております。状況を確認・把握しながら必要と思われる提案を行い、慎重な対応を努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用前に、ご本人とご家族の要望を伺い、優先順位を考えたうえでサービスを利用して頂けるよう努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員とご本人が共に暮らしを営み、協働する事で人生の先輩から学んだり、喜びや悲しみも分かち合えるように、関係を築けるよう努めております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話連絡の際は、積極的にご本人の状態を伝えながら、同時にご家族の意向も伺い、ご家族にも出来る事は協力してもらう事で、共にご本人を支えて頂かれるように努めております。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前通っていた施設へ職員と訪問したり、ご家族の協力の元、馴染みの床屋や美容院へ外出。事業所へ近所の方や知人の来所があった際、ゆっくりと交流できる場の提供に配慮しております。	ショートステイを利用される地元の方が面会に来られる事もある。家族の協力により家の行事やコロナ感染の様子を見て外出、外泊される方もあるが以前より少なくなった。受診の際には家の様子を見に行く事もある。警察の立ち寄りもあり心強い。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングでの余暇活動や会話がしやすいよう、座席配置に配慮しております。協働作業を行う際も、入居者様同士の人間関係を把握し、スムーズに活動が行えるよう配慮しております。対話の少ない入居者様には、可能な限り個別に職員が声掛け配慮に努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院等で退所されても、ご家族に入院経過を伺い、必要に応じて関係機関等との連携や情報提供に努めております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前に本人、家族の思いや暮らし方の希望、入居に対しての意向も把握し、アセスメントや日常会話の中からこれまでの生活習慣や生活リズム、過ごし方など情報収集に努めております。意向把握困難な場合は、無理に入居を勧めずご家族へ確認、本人の意向把握に努めております。	リビングで作品作りや風呂でゆっくり話が出来る。仕草や動作、ジェスチャーを観察し小さな変化等で利用者の思いを知る事もある。耳の遠い方には筆談で職員とのコミュニケーションが取れている。その様子は記録に残し介護計画に役立てている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本情報・アセスメントシートの様式及びセンサー方式を活用する事で、生活歴や暮らし方、生活環境など情報収集に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	24時間生活変化表を活用する事で、生活リズムや心身の状態を把握し、小さな変化に気付いて現状を把握できるよう努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフ会議やケアプラン作成協議ノートを活用し、随時及び更新前月にスタッフ職員よりプランに対する評価、新たな問題(ニーズ)など情報、意見を収集、アセスメント表を作成し、新たなケアプラン(介護計画)の作成に努めております。また家族へ課題とケアのあり方について面談や電話で意見を伺い、ケアに対する希望を賜うよう努めております。	面会時や電話の際に聞き取った情報、申し送りノートを利用し、年々体力の変化も参考にケアプランを見直している。途中変化が有る際には現状に合った介護計画に変更し家族に報告されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や業務日誌へ、健康状態や日々の状況を個別に記録。申し送りなども含め、入居者の状態変化など情報共有に努め、臨機応変な対応や計画見直しに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族のニーズに対し、可能な限り柔軟な対応に努めております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在、コロナウイルス感染防止の為、ボランティアの受け入れや地域への参加などは自粛しております。 コロナ禍前は、定期的なボランティアの来所によって、地域交流の場になるよう努めておりました。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医を希望される方と、往診を希望される方に分かれ、ご家族の協力も得ながら受診や往診の対応へ努めております。 必要に応じて、かかりつけ医との連携に努め、健康維持に繋がるよう支援に努めております。	入居時に利用者、家族の希望する医療機関での受診が出来る。かかりつけ医や他科の受診は基本家族の協力であるが必要時は職員の同行もあり、その結果は家族に報告されている。併設の医療機関から週1回の往診がある。緊急時や夜間は施設から往診出来る体制である。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	必要に応じて、かかりつけ医の看護師及びご家族へ相談、報告。早期診察や対応ができるよう支援に努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院される際、病院関係者(ソーシャルワーカー)と情報交換を行い、入院中もご家族やソーシャルワーカーと連携に努めております。退院になった場合も同様に、連携を通して関係づくりに努めております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約上、当施設では終末期の対応は行っておりません。 重度化した場合や終末期のあり方については、契約の段階で、介護の重度化へ状態が変化した場合、対応可能な他施設への調整支援に移行することを説明しております。	入居時に終末期の看取りの対応はしない事の説明を行い同意を得ている。体力の低下も考慮し要介護3を目安とし、要介護度の進行に合わせ、利用者と家族と話し合いを行い希望する施設又は特別養護老人ホームへの移動をお願いしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	スタッフ会議や勉強会などで、AEDや緊急セットの配置、使用方法の確認を定期的に行っております。		



自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、消防署や地域の方の協力も得て、法人全体で避難訓練、自主訓練を実施しております。訓練に参加できなかった職員に対し、スタッフ会議時に伝達講習を行っております。	法人内施設と合同で年2回訓練を行っている。1回は消防署立会いで夜間想定訓練である。利用者、地域の参加もある。訓練後改善点等の指導を受け点検表を作成している。事業所の近くに職員もおり、緊急連絡網の中には地域の方も登録されている。事業所は地形的に水害の心配はないが大雨、地震、土砂崩れの際には倒木の為孤立の可能性があり対応が望まれる。避難場所は隣接する施設になっているが外部の避難場所も確認し、家族にも報告されたい。備蓄は施設に保管されている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全員、個人情報保護に関する契約を交わし、ご利用者一人ひとりを尊重した言葉かけに、十分配慮して対応を努めております。	法人、事業所で接遇の研修が行われている。言葉遣いも大事とされ、大声や声のトーンにも配慮されている。利用者には時に佐賀弁も上手く使い親しみやすく、分かり易いと言われ、管理者も教わる事もあり雰囲気も良くなる。職員の気になる行動、言葉遣いにはその場で管理者の指導がある。個人情報の保護にも理解されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	できるだけ分かりやすい言葉かけを行い、自己決定ができるような対応に努めておりますが、ご本人の希望に添えていない場面もあり、職員に不安や申し訳ない思いが生じております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	事業所の大まかな流れはあるものの、個人への声かけ、随時意向を確認しながら、自身の生活ペース、気分や意向を尊重して気持ちに寄り添いながらゆっくり過ごして頂くように努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	清潔保持、季節に合った装いについて、気を付けておりますが、おしゃれ等は出来る限りご自身で取り組んで頂いております。ご家族の協力が得られる入居者様は、馴染みの店へ散髪をして頂いております。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前に、ご飯やおかずのつぎ分け、各お膳へ配る作業や、食後に職員と一緒に食器洗いや、テーブルやお膳拭き作業、入居者様皆さんで協働して頂いております。また、朝食作りの下ごしらえとして、野菜を洗ったり、切る作業も可能な限り職員と協働して頂いております。 皆さんで食事の準備等の協働作業をする事で、食事への楽しみや期待感、食べる喜びなどを感じて頂けるよう支援に努めております。	法人の管理栄養士が献立を作成。朝食は事業所で作っている。行事食、季節食にも対応してもらっている。おやつ作りには材料を分けてもらい利用者は作る楽しみがある。利用者は全員普通食で介助する事はないが、皿の位置を移動させる等細やかな見守りで美味しく完食される。米を洗ったり、材料を刻んだり等出来る事で励みに繋がっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設施設の管理栄養士の献立に基づく食事の提供を行っております。 自ら水分を積極的に摂られない方には、職員が声かけ促しを行っております。また、レクリエーションの後や体操の間、休憩時など、皆さん一緒に水補給ができるような、環境づくりに努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛け促しを行い、状況に応じて義歯洗浄やケアの介助を行っております。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し、ご本人の訴えと職員の声かけ支援でトイレ誘導や、聞き取りで個々に合った支援・介助を行っております。	排泄パターンや利用者の様子に沿って誘導されている。自立の方や衣類の上げ下げの出来る方もあり、細かい所は介助し身なりを整えている。居室にはトイレがあり夜間はセンサーマット使用で確認出来ている。ポータブルトイレ使用者はいない。トイレはL字型の手すり、肘掛け、背もたれが配置され、安全で介護も楽である。排便についても医師と相談し対応されている。トイレの扉は3枚になっており広く使える。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事摂取量や水分摂取を意識し、軽運動を毎日実施しております。排泄チェックにより、体調維持に繋がるよう、個々に応じて排泄状況の把握に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの要望や心身状態を考慮しながら、入浴は週2回提供いたしております。その日の体調やご本人の都合に応じて、入浴日を変更するなど、ニーズに合わせた支援も行ってまいります。	浴室への扉は大きなガラス窓になっており広い浴室が見える。自慢のジャグジー機能付きのチェアインバスが設置され利用者はゆっくり安心して入浴が出来会話を楽しまれ職員は労力も軽減されている。機械浴の為入浴剤の使用は出来ないが足浴の際には使用している。衣類の着脱の出来る方は見守りをしている。風習なのか男性が先に入浴の習慣がある。入浴を拒否される方はいない。お湯は入浴毎に替えられる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動や夜間の環境整備に努め、安眠の支援を行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	アセスメントなどから、服薬情報、状況確認を行い、ご家族、事業所看護師等を中心に処方に基づいた服薬ができるよう支援に努めてまいります。内服薬で気になる点や様態の変化について、随時ご家族、かかりつけ医等へ報告、相談を行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとり心身の状態やその日の気分などに応じて、余暇活動の提供や掃除、食器洗い、おかずのつぎ分け、洗濯物干し・たたみなど、役割を持って過ごして頂けるよう支援に努めてまいります。天気の良い日は、事業所周辺の散歩や外周りの草取り、洗濯物を干すなど、自宅での生活を意識した支援に努めております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出行事を企画できる時は、車で出かけられる事もあるが、普段は事業所や隣接する事業所の敷地内の散歩を多く提供することに努めております。また、ご家族に外出行事の付き添い協力の促しにも努めております。	コロナの状況を見ながら下車する事なくドライブをする事もある。日常的には法人の広い敷地内を散歩し山々や田園風景を眺めながら季節を感じ、地域の方と触れ合い、会話をし、日光浴しながら気分転換となっている。外出、面会の制限の中散歩は唯一の楽しみとなっている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	日常生活の継続、認知力低下予防などの意味で金銭管理や取り扱いは大切だと考えておりますが、サービス提供時におけるトラブル防止の為、所持しない事とさせて頂いております。金銭管理等は、ご家族に依頼をさせて頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用開始の時点で、社会交流等の面で、活動域が低下されている方が多く、電話や手紙のやり取りをされていない事が現状。遠方に住むご家族や親類などからの電話は、取り次ぎ介入支援を行っております。携帯電話を所持されている方もおられ、電話の扱いが分からなくなった時など、介入支援を行っております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	散歩へ行った際に、野花や季節の花をご入居者様自ら摘んで、花瓶に刺して飾ったりされております。また、室内から見える場所にプランターを設置し、季節の花を職員と一緒に植えて頂く事も行っております。気候に応じ、室温や湿度、換気などに配慮し、季節の花を飾ったり、環境整備に努めております。	玄関は2重扉になっており施錠は無い。一直線の長い廊下が印象的である。天井が高く段差も無く広く明るい。ホーム内の窓越しから四季折々の自然を眺め、季節を感じる事が出来る。掃除は利用者でされ、清潔で臭いも感じない。廊下は手すりが取り付けられ、障害物もなく、音楽に合わせて運動、リハビリに役立っている。体調に合わせて休憩出来るように、おしゃべりな椅子が置かれている。リビングには対面の台所があり、作業の様子や食事の匂いを感じる事が出来る。利用者が作成したカレンダー本箱には週刊誌が並べられ、読書される事もある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	馴染みのテーブル席の配置。気の合う少人数で過ごせるよう、居心地の良い居場所づくりに努めております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各個室にトイレ、洗面台、エアコン、ベッド、空気清浄機、照明、クローゼットを完備しております。自宅で使用されていた馴染みのタンスや椅子、小物など、ご本人、ご家族と入居前に居室の見学をして頂き、必要な物を検討して頂き、ご本人、家族が好まれる居室空間・環境づくりができるよう、持参・協力等を頂いております。	居室は長い廊下の片側に9室並び中央には職員の記録室が設けられ。夜間は利用者の様子がランプで確認出来る。入口には利用者で職員で作成した名札が掛けられている。迷う方の為に分かり易いように大きく表示されている。洗面台は清潔で温水の温度は35度に設定され安全である。空気清浄機も取り付けられ、好みの植木や趣味の壺、写真、花時計等持ち込まれている。居室は過ごし易く、障害物もなく、整理整頓されている。リビングも居室も臭いは感じられない。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー設計、動線域において障害物に配慮し、廊下やトイレ内に手すり等を配置し、安全性の確保に努めております。 できる限り自力で移動、日常生活を過ごして頂けるよう支援に努めております。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)  
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
		○	4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない